

第2回鎌倉街道上道を歩く ⑧

＜上和田団地～ドリームハイツ＞

距離 約8.5km

1. 日時 2023年4月21日(金)
雨天の場合は 4月25日(火)
2. 集合場所 新秋津駅 改札口前 8:30
3. 出発時間 8時34分(8:15所沢駅発の電車でOK)
4. 昼食 12時0分頃 サイゼリア



新秋津 8:34-8:48 府中本町 8:56-9:11 登戸 9:20-9:36 相模大野 9:40-9:55 高座渋谷-10:03 バス-10:08 上和田団地

コースガイド

上和田団地バス停から鎌倉街道に戻ります。

- ① **本興寺**：日蓮宗の本山で法華山本興寺といい、もとは鎌倉にあったが、慶長13年(1608)日経上人が「不受不施^{*}」を説いたため、江戸幕府からキリシタンと同様の弾圧に遭い、万治3年(1660)日蓮ゆかりの地であった上飯田の地に移されたものといわれています。

山門をくぐり、しばらく行くと、天明5年(1785)に建てられた仁王門と仁王像があります。本堂の唐破風の下には見事な彫刻があります。



また、本堂の欄間には釈迦、日蓮、日什の一代記の彫刻があります。寺の墓地には、当時の住職や南北朝時代の板碑が多く見られます。名木古木に指定されているイトヒバがあります。

※ **不受不施**：日蓮の思想の1つで、不受とは法華信者以外の布施を受けないこと、不施とは法華信者以外の供養を施さないこと。

- ② **堅牢地神塔**：土地神様(とちかみさま)の信仰が仏教と結びついて十二天の一神、地天の別称である「堅牢地神」と結びついた。
- ③ **甲子塔** 甲子塔は、甲子講の人々が建てた供養塔である。甲子日待は、甲子(きのえね)の夜に、禍を転じて福を授けてくれる

大黒天を祀り、夜遅くまで飲食をともにしながら語り合う行事であった。

- ④ **飯田神社**：飯田神社は、相模川沿いに祀られているサバ神社の1社で、明治6年（1873）に上飯田村の村社に指定されています。境内には、横浜市の名木古木に指定されているヤブツバキや庚申塔、道祖神、地蔵などがあります。毎年1月14日には「さいと焼き」が行われます。

南	西	東
ふ	あ	か
ぢ	つ	し
さは	きを	を
	道	

庚申塔の側面⇒

- ※ **さいとやき**：主に東日本で、小正月に道祖神を祀って行われる火祭り。正月の飾りものを焚きあげ、火の霊力により健康を祈る。「どんどやき」ともいわれる。

- ⑤ **無量寺**：無量寺は大山道沿いにあり、境内には大山道の道標を兼ねた名号碑があります（下見では見つからなかった）。

また、名木古木に指定されているイチョウの古木や、寛政六年(1794)造立の「出羽三山・西国・板東・秩父百番札所」供養塔、元徳年間（1329～32）に造立された板碑などがあります。

昼食 サイゼリア 12:15～の予定

- ⑥ 下飯田に入ると右側の古い道に入ると、昔ながらの風景が広がります。ここに立派な

「美濃口家長屋門」があります。美濃口家は代々名主を勤め、村制をしかれてからは村



長も勤めた家柄です。ここに、江戸時代の俳人「美濃口春鴻」関係の資料（横浜市の文化財）が納められています。

- ⑦ **下飯田左馬(さば)神社**：下飯田村の村社に指定された神社ですが、以前は「鯖神社」と表記していました。前回の飯田神社と同様「七サバ参り」の神社の一つです。

鯖神社は飯田五郎家義^{*}の勧請により創建したとも、小田原北条時代に当地を治めた川上藤兵衛が創建したともいいます。

横浜市の名木・古木に指定されたイチョウがある。

- ※**飯田五郎家義**：平安末期にこの地を治めており、治承4年（1180）の石橋山の戦いに敗れた源頼朝を助け、同10月の富士川合戦では戦功を挙げたことなどから、飯田郷の地頭に任ぜられたと伝えられます。

- ⑧ **飯田五郎館跡**：富士塚公園の一隅に、「富士塚城址」の碑がある。これは飯田五郎の居城があったという伝承に基づいて、建てられたものであるが、館跡を城址と言うのはいかがなものか。

- ⑨ **東泉寺**：巨木（こぼく）山という山号にふさわしく、山門前に樹齢410年幹周り4.8mのイチョウが聳え立っている。創建年代は不明、再三の境川の氾濫によりここに移されたもの。元の土地は、境川近くの寺分という呼称で一部が残っている。



当地を知行した旗本の寛助兵衛がこの寺を再興したと思われる。弘法大師が祀られている「相模国準四国八十八ヶ所」の一つとなっている薬師堂も同時期に移転している。

東泉寺の左奥には琴平神社がある。この地に東泉寺が移転した天正18年（1590）頃に、寺の鎮守として水難守護治水の神である金毘羅神を祀って建立されたと伝えられる。

境内にある庚申塔、馬頭観音ともに「この方、かまくら道」

と刻まれている。元は街道沿いにあったものだ。

- ⑩ 天王森泉館: この建物は、明治44年清水製糸工場の本館として建設されたものです。



帰路 15:50 ドリームハイツバス停ー戸塚駅 16:20 湘南新宿ラインー17:14 池袋 所沢帰着時間 17:40 頃予定

~~~~~  
次回は藤沢まで



